






1. まちづくりの将来ビジョン

1-2 土地利用ゾーニングと方針

まちづくりのゾーニングをもとにして、駅前広場を中心に、賑わいのある商業・業務地と拠点的施設を配置し、その後背地に複合地(住宅および商業・業務施設)、住宅地を配置することにより、賑わいと安らぎのあるまちづくりを実現する。

まちづくりのゾーニング		土地利用
	人と情報の交流ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心商業・業務施設地 ○ 東口…商業業務施設や教育施設、飲食店、宿泊施設等が立地する都市活動のサービス拠点(高度利用の促進) ○ 西口…生活サービス施設や文化・余暇活動施設が立地する生活サービス型商業・業務施設地
	情報化社会を切り開くゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ● 商業・業務施設地 ○ 駅利用者や学生のサービス施設と(仮)熊本市図書・情報センターを核とした生活文化関連サービス施設を中心とした商業・業務施設地
	新しいタウンライフを提供するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ● アミューズメント・情報機能を中心とし、商業・業務・飲食機能等の土地利用
	生活文化を創造するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺を商業・業務系の土地利用、その周辺を都心居住・商業・飲食系の土地利用
	地域コミュニティを育むゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅を中心として商業・業務の調和のとれた土地利用

	駅前広場
	商業・業務施設地
	都市型居住・複合地
	一般住宅・複合地

